

平成21年11月6日(金曜日)

日本経済新聞 中部経済

管理システム
業務システム

観光バス向け半額に 名鉄がソフト期間貸し

名古屋鉄道は、観光バスの会社向けの割安な業務システムをソフトの期間貸し(ASP)方式で提供する。導入費用を従来の半額に抑えたのが特徴。バスの運用状況や運転手の勤務の管理などが一元的にできるようになる。景気悪化で観光バス会社の経営環境も厳しさを増しており、情報技術(IT)で業務を効率化した顧客に利用を呼びかける。

る。

新商品「乗々道中」(ASP版)は、名鉄子会社のメイテック(名古屋)が12月発売する。主にバス運行台数が20〜100台の中小中堅向け。バス1台ごとの配車状況を1時間単位や1週間単位など4パターンで管理できたり、過去の運行経路や運転手の勤務履歴を

インターネット経由で閲覧できたりする。

また、運転手が得意な経路を調べたり、高速道路や駐車場の料金実績から請求書を手軽に作れるようになり、人員やスペースの低減につながる。

ASP版は初期費用が200万〜300万円。月額利用料が2万円から。一方で、メイテックがパッケージソフト形式で販売してきた乗々道中では、導入費用が100

0万円程度と高く、これまで100台以上バスを保有する大手の約20社に導入が限られていた。3年後に100社の導入を目指す。